

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2025 年 7 月 31 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所 氏 名 (代表者名)	〒 060-0031
	札幌市中央区北1条東3丁目3番地 札幌スクエアセンタービル
	北海道エネルギー株式会社
	代表取締役社長 木村 信広

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 の規定により、環境保全行動
第23条第3項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日						
事業 の 規 模	従業員数	758		人	原油換算した	2298.0		k l
	使用床面積	25416.57		m ²	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	82	事業所	自動車使用台数		166	台	
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン		N ₂ O		HFC	
		5570 t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂	
	非エネルギー起源CO ₂	PFC		SF ₆		NF ₃		
	t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		
報告書の担当部署		担当部署名						
		担当者氏名						
		電話/FAX						
		電子メールアドレス						
計画書提出根拠		条例第13条（環境保全行動計画）				☒ 第1項 ☐ 第3項		
		条例第23条（自動車使用管理計画）				☒ 第1項 ☐ 第2項		
計画期間		2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日						
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり						
備 考		別途計画変更書添付						

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】
2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日
【報告期間】
2024 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
事業活動に伴うCO2排出量の削減	2139	1	2119.28	1	△	1711.77	20	○	1611.44	25	○
	t-co2	%	t-co2	%		t-co2	%		t-co2	%	
自動車の使用に伴うCO2排出量の削減	318	1	284	11	○	272.66	14	○	238	25	○
	t-co2	%	t-co2	%		t-co2	%		t-co2	%	
使用電力の削減	7132	1	7133.3	▲ 0	×	6728.6	6	○	6196.1	13	○
	千kwh	%	千kwh	%		千kwh	%		千kwh	%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。
2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。
○：目標削減率を達成
△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成
×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
事業活動に伴うCO2排出量の削減	○	4店舗閉鎖・売上減少・営業時間の短縮・人員の減少等、事業規模の縮小による
自動車の使用に伴うCO2排出量の削減	○	社有車保有台数の減少・車両運行管理の管理徹底
使用電力の削減	○	上記の理由に加えて、基準数値となった2021年度が例年に比べてかなり高い年であった為